

経営なんでもものは 教科書通りでよくなっただらおしまいです

Photo/遠藤直次

——常に「欲と美意識のバランス」の取り方を考える

今回のゲストは「会社にお金が残らない本当の理由」で知られるマーケティングコンサルタント、税理士の岡本吏郎氏です。会計と経営とお金のプロである氏に、今号と次号の2回に分けてお話を聞きます。

聞き手/山口哲史 (株)プロ・アクティブ代表

(株)ビジネスサポートあうん代表取締役

岡本 吏郎

先見
トップ・インタビュー

TOP
先見

interview



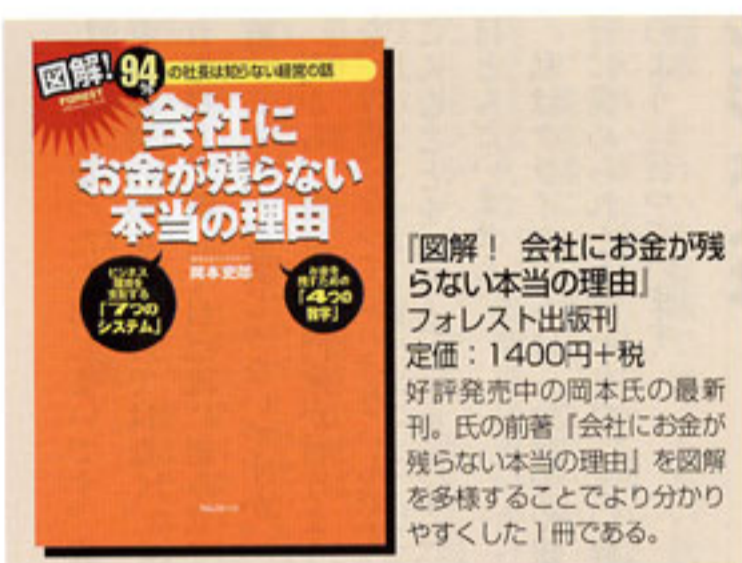
細かいことが得意な人に 経営は向かない

山口 初めてお会いしてから、どれくらい経ちますか。

岡本 そうですね、5、6年経ちますね。

山口 ある会で一緒になり、その後何回かお会いする機会があつて……。ところで、税理士でマーケティングコンサルタントもされている方は少ないですよ。

岡本 少ないだけでなく、できない



『図解! 会社にお金が残らない本当の理由』
フォレスト出版刊
定価: 1400円+税
好評発売中の岡本氏の最新刊。氏の前著『会社にお金が残らない本当の理由』を図解を多様することでより分かりやすくした1冊である。

人が多いですよ。

結局、会計の仕事は数字を合わせるのが仕事じゃないですか。税務の仕事は法律解釈ですから。

山口 そうですね。

岡本 まあ、そこを担っている人が多いんですよ。

ところで、山口さんは細かいことは苦手でしょう。

山口 絶対できない。

岡本 細かいことが得意な人に経営は向かないんですよ。

山口 なるほど。

岡本 だけど、今の日本のつらいところは、その細かいことが得意な人に経営の相談をしてしまう。

山口 生きている世界が違うはずなのにね。

岡本 だけど、そういうことが起きている。税理士が身近で一番相談しやすいですからね。

山口 確かにそうですね。

岡本 公認会計士で上場企業の監査をやっている人の一部や、アメリカの会計事務所パートナーレベルまで務めた人の中には、非常にマクロな視点で経営を見ることができ人もいますから別ですが……。

でも、ホント会計の世界でそういう人は少ない。

だから、細かく電卓をたたいたのが

好きな人たちに、経営の相談をしちゃっているんです。

山口 そうですね。

岡本 僕の場合は逆。そういう人間ではないけど、たまたま資格だけ持っていた。

山口 いや、たまたまで資格は取れませんよ。

岡本 まあ、でもそうなんです。僕は細かいことが大の苦手。

でも、資格や肩書きは、語弊があるけれど、努力をすれば誰でも持てる。だから自分とは対極の資格を採れた。もつとも、細かいことは嫌いでも、数字自体は好きでしたけど。

山口 だけど、〈胆〉の部分はちゃんと抑えて経営の仕組みをつくったりしているんですよ。

岡本 まあ、そういうのは山口さんも同じで好きですよ。

経営の仕組みをつくったり、経営戦略というか、〈戦略〉という言葉大好きだから。

会計士や銀行に 褒められたら終わり

岡本 会計の専門家は真四角が好きなんです。よく本なんかで、財務分析のことか書いてありますよね。でも、経営なんてものは教科書通り

会計の専門家の言う「理想」などない